

日本ライオンズ・アラート委員会としては7/6日～被災現地に337-アラート青木班長と336-アラート藤井班長、武雄LC石永がサポートとして先遣隊となって現地に入り調査。

・熊本県人吉市・水俣市・津奈木町・多良木町・水上村

熊本県を流れる球磨川の堤防は決壊した。

2020年7月4日から熊本県・鹿児島県豪雨による被害が多発して、その後、佐賀県、大分県、長崎県など九州全域と、四国、中国地方、関西、中部、関東とほぼ日本の半数の地方に広まっている。この事態を踏まえて日本ライオンズ・アラート委員会は万全の対策をもって全日本レベルでの支援活動の指針となる様に下記の名称で

「令和2年7月大雨災害緊急支援対策会議」を2020年7月10日

午後1:30からのWeb会議をもって支援対策を起動開始する。

- | | |
|--------------------------|-------------|
| ①委員長挨拶 | (小林委員長) |
| ②出席者確認 | (") |
| ③議事録作成人指名 | (") |
| ④アラート委員会の取り組み・ガイドラインの再認識 | (柿原アドバイザー) |
| ⑤現地報告を受ける | (青木・藤井・石永)・ |
| ⑥支援活動に付いて | (坂本西日本統括)・ |
| ⑦緊急支援金に付いて | (小林委員長) |
| ⑧物資支援の届け先に付いて | (坂本西日本統括)・ |
| ⑨台風19号支援金使途報告について | (小林委員長) |
| ⑩その他 | |

【重点課題】

- ★今回はレベル3で取り組む
- ★会議決定事項を即刻、全国8複合議長より地区ガバナーに通達する
- ★各被災地に於いては「〇〇支援対策本部」を立ち上げ活動拠点とする
- ★各被災地、現地対策本部の正確な住所と連絡場所、責任者を明確に
- ★緊急支援金の要請 (各準地区キャビネット経由で金額は任意とする)
- ★各被災地区支援ボランティアの受け入れは被災地対策本部で対応する
- ★支援物資・資機材の要請(各地区毎に指定した方が…物資がだぶらない様に…。)

【アラート委員会各委員からの報告ドキュメント】 7/5～7/9 まで(一部省略して)

- 7/5 AM 9:00 小林委員長から熊本県、鹿児島県に大雨特別警戒が出ている情報収集を願いたいとの LINE が発信された。
- AM 9:06 MD336 藤井班長 了解
- AM 9:37 小林委員長 「MD337 二場委員。青木班長に電話で連絡済との連絡あり・・・。
- AM10:40 柿原アドバイザーからコロナ感染症禍の中慎重に行動するようにと連絡。
- AM10:46 坂本リーダーから熊本人吉 LC メンバー近隣に避難の呼びかけ後自らも避難。
- AM11:53 新しい委員長が決まるまで古馬や墓引き続き指揮を執るとの連絡あり。
- AM12:00 柿原アドバイザーから各委員、班長は引き続き任務に当たってほしいとの連絡あり。
- AM12:10 橋本、野村、藤井、坂本より了解殿連絡あり。
- AM12:40 藤井取りあえず土嚢を 2,000 袋用意したとの連絡あり。
- 19:04 坂本より来週にもアラート委員会を開催して欲しいと連絡あり。
- 19:06 藤井より火曜日から情報収集の為人吉に入りたいとの連絡あり。
- 19:10 青木班長とも連絡として 2 人で進めてほしい・・・と依頼。
- 19:51 藤井班長から「ここまで広範囲でかつ上流まで被害が広まった事驚き・・・。
- 19:53 335 ガバナーからアラート委員会からの指示を待っています殿連絡あり。
- 19:53 334 西村からアシストさせていただきます。長野県岡谷市も凄い事に・・・。
- 19:56 東日本アラート班長にグループ LINE に招待したいとの連絡あり・・・。
- 20:17 西村より「人吉のメンバーも被災しています」まず 337 地区のキャビネットが動かないと・・・、人吉市、人吉社協の情報を日本ライオンズに・・・。
- 20:18 藤井より 337-E 地区でボラセンにライオンズの対策本部を市長に併設願を出しているがパニック状態で検討中・・・動かない・・・。
- 20:22 MD332 の山下とグループ LINE 繋がる。
- 20:29 私たちはボラセンが立ち上がるまでの間に「土嚢や泥だしスコップ、清掃道具、そして今は避難所への消毒液、マスク、区切り段ボール、仮設トイレなどを早々に手配すべきではと山下から LINE 連絡あり。日本ライオンズとして情報確認と社協とのパイプ役と速やかな支援方法を策定できる様に努めてください。
- 21:06 MD333 の大高班長ともグループ LINE 繋がる。これで班長全て OK!
- 21:15 337-E 熊本の高野ガバナーと連絡・・・。337E 高田第 2 副地区ガバナーに支援物資の受援をお願いしていると青木班長から連絡あり・・・。
- 21:29 青木より「九州南部は今週も雨が続くので油断が出来ません」と LINE あり。
- 21:48 坂本より「各地のガバナーはアラート委員会の情報を待っているようです・・・。各 MD も同様です。という事は我々が早期に正確な情報を発信する必要があります」「来週にも青木、藤井亮班長にアラート先遣隊として被災地に出向いて情報収集したものを委員会で纏めて必要な情報を全国に発信する様にしたい」
- 21:59 青木より「鹿児島県社協ボラセン所長とも連絡を取りながら被災情報を執れる様にしています」「災害救助法が適用されて共同募金の災害支援に使える物の調達が困難でライオンズを含めた外部からの物資は有難いとの事です」
- 22:13 青木、藤井両班長には先遣隊として鹿児島、熊本県社協と密な情報を取られて坂本リーダーに先ず報告しておいて下さい。全国のガバナーに正確な情報を知らせる為にも、気を付けて頑張ってください。

- 22:33 小林委員長より「アラートチームが名実ともに初めての行動開始です」
- 22:46 山下より「必要と分かっている物資の調達には各 MD に要請すべきですが、それを受け入れる被災地区の対策本部が出来ていないと送り先などで混乱する事もありますので両班長には現地受援体制の早期構築の必要性を訴えて立ち上げのアドバイスをねがいます」
- 22:51 野村より「無駄な事は何もありませんが、出来るだけ無駄な事のない様にアラートは日々進化する物なので班長の指示を待ちましょう」
- 22:54 青木より「現時点で現場から鮮度重視の物資支援は緊急支援の定義では抛棄、出来ることに成っていますが今の剰余金で対応できるようにお願い出来るかどうか???
- 22:57 野村より「自分を信じて実行してください」との励まし LINE 送られる。
- 23:00 坂本より「必要な事をすぐにするのがアラートだし、委員会で即決すれば良い事なので安心してニーズを探ってきてください」
- 23:01 小林委員長より「前期の残金を有効活用したい」「ミスを心配するより被災地が何を待っているのか…委員会ではその情報を知りたい」
- 23:10 坂本より「識名理事長とも連絡があって全て自分が責任を取るから実働の判断はまかせるとの事です」
- 23:23 野村より「皆柚ご苦労様です」との LINE あり
- 7/6 AM09:34 藤之原より「今は両班長の連絡を待つ間必要な物資を集める事です」「335では各ガバナーと連絡が取れ日本ライオンズ・アラート委員会からの連絡を待つことになっております。青木さん、藤井さんご苦労様です」と連絡あり
- AM09:42 藤之原より「人吉 LC メンバー竹原病室、まえだ薬局、駒井田調剤薬局、愛甲産婦人科など多くのメンバーが被災されている」との現地報告あり
- AM11:19 小林委員長より「今期 35 人のガバナーはグループ LINE で全て繋がっていると MD335 の松岡さんより連絡があった」「皆さんはアラート委員会からの情報を待っているとの事」と LINE あり
- 12:10 坂本リーダーから「先遣隊の交通費、宿泊費はガイダンスの通り委員会から支払うので、必ず領収書を受け取って頂きたい」との連絡あり
- 12:11 青木。藤井から「ありがとう」の LINE あり
- 13:51 青木より「7/6 日午前中に 337E の高田第 2 副地区ガバナーが職場(保育園)に高野ガバナー、幹事が現地視察されますので私もここに出席します。7/7 日にはキャビネット事務局でアラート会議が開催予定ですのでこちらにも同席します。との LINE あり
- 14:09 保育園は大丈夫でした。社協のボラセンは準備中です。物資受援体制はまだの様
- 14:34 青木より文章表現曖昧でした保育園にいったん集まり、そこを拠点に活動します。
- 15:12 小林委員長よりアラート WEB 会議は 7/10 日午後 1:30~実施するとの発信あり。
- 7/7AM8:57 青木より「人吉に入りました」との連絡あり
- 10:23 小林委員長より「前ガバナーとの連絡網整いました」との連絡あり
- 21:02 青木より「人吉 LC は被災者が多いので免田 LC と錦 LC で執り行う事に成りました」との連絡あり
- 7/8AM10:47 小林委員長より大雨が九州北部にも更に中国地方にも被害が拡大・・・
以下は各自の LINE でご確認頂ければと思います。 以上アドバイザー柿原勝彦

日本ライオンズ・アラート委員会としての取り組みとして・・・

今回当委員会として先遣隊としてMD337、MD336から2名を7/6日から熊本人吉に入ってもらい7/7日には応援として武雄LCのL石永にも加わって頂き現地を視察してもらっておりました。

被災地区では337地区高野ガバナー、高田第2副地区ガバナー、キャビネット幹事、地区アラート委員長らと共に被災地の調査、現地社協との調整や情報収集、また当地区指導の一による早期の受援体制(現地対策本部設置)のサポートを進めて頂きました。本当にご苦労様でした。

今後この災害は全国に広まる可能性もあり油断は出来ません。現時点ではまだまだ避難・救助の段階で有り、現地社協によるボランティアセンターの開設にも時間が掛かるかも知れません。よって、支援を受け入れる体制が整ったことを確認してからにして頂きたい。現地支援体制が整った時点で被災地複合、準地区からの要請が出た時点で、各々のクラブ、準地区、複合からの要求物資の支援を行ってください。物資の偏りや無駄のない様に調整をして頂けます様お願いします。

当委員会では現時点での支援体制を適切に定め、全ての委員、班長が責任ある行動を取って頂きたい。行動を起こすときには必ず地域の班長が被災地区のガバナーと密に連絡を取って活動して頂きたい。

ボランティア活動を考えている皆さんへ ～被災地からの発信があるまでは被災地に向かわないでください～災害ボランティア活動は、個人個人の自由な意思に基づいた活動であることが原則です。

しかし、新型コロナウイルス感染が懸念されている現在の状況下では、災害ボランティア活動を進めることで、感染を広めてしまう恐れがあります。とくに今回の被災地域は、人口に占める高齢者の割合も高く、感染の広がりが被災地の住民の命を脅かす事態を生じさせかねません。

そのため、今回の災害における今後のボランティア活動については、被災地域からボランティア募集に関する発信があるまでは、ボランティア活動を目的として被災地に向かわない様に努めて下さい。

熊本県社協、鹿児島県社協、全社協の動き

<熊本県社協>

熊本県社協では、KVOAD(特定非営利活動法人くまもと災害ボランティア団体ネットワーク)と協働して、この間県内の被害状況について情報収集を進めています。

また、今日5日(日)夜には、熊本県社協、KVOAD、JVOAD(全国災害ボランティア支援団体ネットワーク)、熊本県庁、全社協、支援P(災害ボランティア活動支援プロジェクト会議)とWEBによる情報共有会議を行います。

明日6日(月)には、熊本県社協職員とKVOAD職員が複数のチームを編成して被災地に入り、情報収集と今後の支援の方向性について被災地の社協等と情報交換を行います。

なお、被災地の複数の社協では災害ボランティアセンター設置に向けた準備を行っており、詳細が決まりしだい、「被災地支援・災害ボランティア情報」ホームページでもご案内いたします。開設後は新型コロナウイルス感染症拡大防止から、当面は被災地近隣の方々に限るなど、範囲を定めてボランティアの募集が行われる予定です。ご理解・ご協力をお願いいたします。

<鹿児島県社協>

現在、県内市町村社協と情報収集を進めています。また、6日(月)にかけて大雨の恐れもあることから、市町村社協に注意喚起を行っています。

<全社協の動き>

熊本県社協、鹿児島県社協、JVOAD(全国災害ボランティア支援団体ネットワーク)と連携して、被災地の情報収集を行っています。

熊本地震に見舞われた熊本市では、マンホールトイレの設備を市があらかじめ準備していたため、4か所で20基が設置され、実際に活用された。国交省が利用者の声を聞くと、「発生直後に使用を開始できた」「貴重な洋式トイレとして快適に使用できた」「お年寄りや女性に使いやすい」などと喜ばれたという

◆非常持ち出し袋に加えたい主な新型コロナ対策品リスト◆

-
- ☐ マスク(ない場合はキッチンペーパーと輪ゴムで作製)
- ☐ アルコール消毒液
- ☐ ハンドソープ・固形せっけん(避難所のものを共用しない)
- ☐ 使い捨てのビニール手袋(ドアノブなど多くの人が触れるものからの接触感染防止のため)
- ☐ 使い捨てのビニールエプロンまたはゴミ袋(避難所運営に協力する際などに使用)
- ☐ 使い慣れた体温計(自治体で用意できない場合があるため)
- ☐ 滑り止め付きの上履き(床からの接触感染を防ぐため。スリッパでも可)
- ☐ 常用薬・お薬手帳
- ☐ ティッシュやウェットティッシュ、ペーパータオル、ポリ袋(多めに用意)
- ☐ ペットボトルの水(熱中症やエコノミークラス症候群の予防のために多めに持参。車中避難はさらに多めに)
- ☐ 携帯トイレ(避難所のトイレが使えない場合や車中避難に備えて)